



【2学期のキーワードは、安心・自信・楽しい学校】

2学期がスタートして1週間。しだいに生活のリズムが戻ってきたようで、朝の挨拶の声が大きくなってきました。また、休み時間に友達と遊ぶ姿が運動場いっぱいに見られ、とてもうれしいです。保護者の皆様には、夏休み中の地区プール監視・環境整備・バレーボール練習など大変お世話になり、ありがとうございました。



夏休み思い出トーク

さて、始業式で2学期の取組として次のような話をしました。「みんなでみんなが楽しくなる学校をつくる」ために、2学期のキーワードを「安心・自信」とします。

まず、「安心」についてです。時計がない場所でも、時間いっぱい遊んだり掃除をしたり学習したりすることができるように、「チャイム」を入れることにしました。チャイムの合図を守って行動することで、気持ちを切り替えて、学習規律や生活のリズムを整えましょう。

また、一人一人が落ち着いた環境の中で安心して過ごせる学級・学校にするために、誰に対しても「温かいことば」を使いましょう。もし、間違っても大丈夫。誰も笑いません。もちろん、友達に対する暴力も絶対にしません。

2つ目は、「自信」についてです。1学期の学習の様子を見ていて、課題への取り掛かりや続ける力がもう少しだと思いました。今すべきことに素早く取り掛かる、途中で遊ばないで続けて取り組むことができれば、もっと学力が定着します。そこで、姿勢にも気を付けて「集中」して取り組むことを頑張ってもらいたいと思います。また、「つながる」ことも大切にしたいと思います。困っている人がいたら「大丈夫？」と声を掛けたり、「分からないから教えて。」と自分から聞いたりすることを通して、友達と積極的にかかわりをもつことができるようになってほしいです。

安心できる学校・学級の中で、自分に自信を持って本気で取り組む。そして、振り返りにより、お互いのよさを認め合いながら、実り多い2学期になるようにがんばっていきましょう。

始業式の次の日、一人の子どもが話に来てくれました。

「校長先生。吉備小はチャイムなしで行動できることをよき伝統としてきたのに、どうして、2学期からチャイムがあるのですか？納得できないのですが・・・」

この質問に対して、私は、

「もちろん、チャイムなしで行動できるような吉備小を目指していますが、実態はどうでしょうか？チャイムの有り無しではなく、まず、自分たちで時間を意識して行動できることから徹底していきたいと思います。それができるようになると、1つみんなの自信になって、次のステップに上がれます。チャイムはみんなが耳で聞いて自分で行動するための1つの手段にすぎません。目指すところは、Aさんの思いと同じです。吉備小のよき伝統を守っていこうと考えてくれるその気持ちが本当にうれしいです。ありがとう。」

と伝えると、

「そういうことなら、納得できます。」と言って、ほっとしたような表情を見せてくれました。

夏休みに職員で話し合ったチャイム導入ですが、Aさんとの話は大切に心に留めておきたいと思います。今、子どもたちは、チャイムの合図をしっかり守ろうという気持ちが行動に表れています。誰にとっても分かりやすい「ユニバーサルの視点」からも、しばらく続けていきたいと思っています。そして、何事にも自分で考え、主体的に行動できる子どもを育てていきたいと考えています。

